

Topic

1

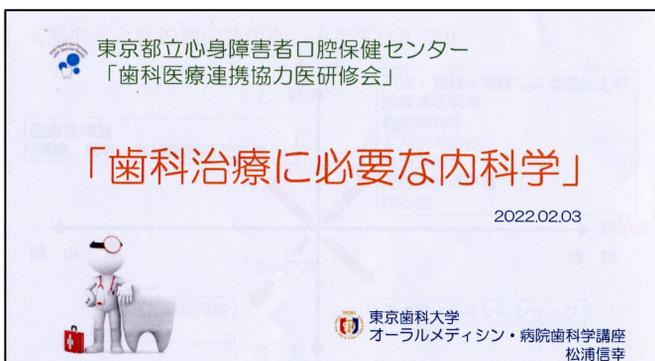
歯科医療連携協力医研修会を開催しました

令和4年2月3日(木)午後7時より、歯科医療連携協力医研修会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初めてweb配信による開催となりました。

今回は、「歯科治療に必要な内科学」をテーマに、東京歯科大学 オールラメディシン・病院歯科学講座、東京歯科大学 市川総合病院 歯科・口腔外科教授の松浦信幸先生に、ご講演いただきました。当日は、平林幹貴医療連携室委員長が司会進行を務め、41名の方々が聴講して下さいました。



平林幹貴 医療連携室委員長



講師：松浦 信幸先生

講演は、歯科治療における全身偶発症から始まり、心臓血管疾患、脳血管疾患、代謝内分泌疾患、泌尿器疾患、神経・精神疾患等、各疾患の症状や歯科治療時の注意点について解説いただきました。歯科治療を行う上で、「主治医と連携を取り最新の患者情報を把握することや患者の病状、内服薬を定期的に確認すること」「患者さんやキーパーソンと良好な関係を構築すること」「患者観察と積極的なモニタリングを実施しストレスの少ない歯科治療を心がけること」「スタッフと緊急時の対応を確認しておくこと」等が大切であるというお話がありました。どれもこれも、安全な歯科診療を患者様に提供するため、明日からすぐに役立つ内容ばかりでした。

【受講者からの感想】

- ・豊富な内容をコンパクトにまとめてくださって、充実していました。
- ・内容、時間ともに素晴らしかったです。
- ・とても勉強になりました。また、受講したいです。見逃し配信などがあると何回も見ることができるので良いと思いました。
- ・コロナ禍においても、このような形式で研修が行われることは大変有難く思います。また、コロナが収束後も一つの開催形式として、とても有効かと思えます。

Topic

2

障害者歯科機能連携委員会が 開催されました



各地区歯科医師会の委員の先生方



会場：当センター研修室

令和4年1月24日(月)午後6時30分より、障害者歯科機能連携委員会が、昨年引き続きweb配信にて開催されました。

本委員会は、年に1回、当センターと地区口腔保健センターのある都内歯科医師会の障害者歯科担当委員が集まり、情報交換や協議を行い、医療連携を図ることを目的としています。

最初に、東京都歯科医師会会長・当センター所長の井上恵司先生のご挨拶があり、障害者歯科機能連携委員会委員長の佐藤修先生(東京都杉並区歯科医師会副会長)の司会により議事が進行されました。最初に、令和3年度における当センターの運営状況と医療連携の実績について報告を行った後、協議に入りました。協議は、事前に回答をいただいたアンケート結果(各地区口腔保健センターの診療体制や、設備、スタッフ等)をもとに、「各地区歯科医師会における地区口腔保健センターの現状について」話し合われました。各歯科医師会の先生方からは、コロナ禍での歯科診療の状況や、静脈内鎮静法を行うにあたり歯科衛生士の教育はどのように行われているのか、地区センター協力医の増員方法等について、意見が交わされました。当センターとしましては、今回の協議とアンケート結果をもとに、各地区の実情に合わせた医療連携をさらに進めて参りたいと考えております。

Topic

3

協力医ステッカー、登録医ステッカーを 作成しました

当センターでは、地域で障害のある患者様を受け入れて下さる先生方を増やし、患者さんが住み慣れた地域で歯科診療が受けられるように協力医、登録医制度を設けております。当センターの個別研修・アドバンスコースを修了された先生方の中で協力医制度に賛同いただいた方を協力医(2022年3月現在131名)、研修が未受講でも協力の申し出をいただいた先生方を登録医(2022年3月現在158名)とさせていただきます。



協力医ステッカー



登録医ステッカー

これまで協力医、登録医の先生方を対象に協力医証、登録医証を発行して参りましたが、新たに協力医、登録医それぞれにステッカーを作成しました。待合室や診療室だけでなく、入口に貼るなどしてご活用下さい！

「連携だより」に関する問い合わせ：東京都立心身障害者口腔保健センター・医療連携室
TEL (03) 3235-1141 (代) / FAX (03) 3235-1144